

令和5年1月25日(水)

第3回静岡県立裾野高等学校運営協議会 議事録

1 開会

2 校長挨拶

3 議事

(1) 令和5年度スクールポリシーについて

昨年度、スクールミッションを確定済み。それを踏まえてスクールポリシーの策定をしなければならない。10月に教職員・生徒にアンケートを実施した。その結果を踏まえながら作成した。

① グラデュエーションポリシー（卒業までに育成する資質・能力）について

本校のスクールミッションから、自らの使命を自覚し何事にも挑戦して社会の変化に柔軟に対応できる能力を育成するが重要です。そして、多様な人々と交流し様々な社会変化に対応し豊かな人生を切り開き、地域に貢献できる人材育成を目指すとしています。

将来の生徒像として「何事にも挑戦し、社会の変化に柔軟に対応できる行動力を身に付け、地域に貢献できる人を育成します。」としました。そのために必要な資質・能力として知識・技能、表現力・判断力・協働力、他者への思いやりなどの力を育成していきます。

②カリキュラムポリシー

1. 総合学科の学び

多種多様な教科・科目を設置し、生徒一人ひとりの個性の伸長、卒業後の進路実現に対応できる教育課程を編成します。多種多様な進路選択に対応できるように、キャリア教育が非常に重要である。

2. キャリア教育の重視

総合学科である裾野高校には「産業社会と人間」という科目が必修科目になっている。これと総合的な探求の時間の学習と併せて、将来の進路実現に向けて様々な教育活動を行っていく。

3. 地域との連携

外部人材の活用を通じて学習内容の深化を図り、生徒の資質・能力を育てていく。

③アドミッションポリシー

基本的な生活習慣が身についていること。自ら課題を見出し、その解決に向けて粘り強く取り組むことができる生徒。将来のために自分の在り方、生き方を深く考え、自らの考え方をよりよく進化させていこうとする生徒。地域の一員として自覚を持ち、主体的に行動

し、地域に貢献しようとする生徒を求める。

意見交換

山本委員 入試の面接において、裾野高校に入学する中学生にこういった資質だけは持っているもらいたいというような、具体的な資質を明確化したほうが良いのではないか。新しい学習指導要領に引っ張られすぎではないだろうか。裾野高校の特長がわかりにくい。抽象すぎるのではないか。裾野高校ならではの具体性があつたほうが良いのでは。

校 長 学習指導要領に則り、少し網羅的になっている部分はあるかと思う。学校の特色をもう少し、明確化していきたい。

山本委員 裾野高校の福祉系列の特長をもうちょっと打ち出してもよいのではないか。

校 長 ご意見を反映させながら、3月までに提出しなければならないので、少し再検討させていただきたい。

副 校 長 常葉大学のグラデュエーションポリシーについてももう少し詳しく教えていただきたい。

山本委員 「共同体」感覚という概念があつて、教育において「過去」にとらわれない、未来志向で考えるというアドラーの考え方を取り入れたものや、保育の現場で求められる能力として、即戦力となりえる人材を育成するとか、他者と共にいることに喜びを見出せる人であるとか、学部によってかなり異なっている。いずれにしても、他校と差別化できる具体的な内容のほうが良いと思われる。

校 長 裾野高校の場合、系列が6つあるので、系列ごとに示すと多くなってしまう恐れがある。端的に総合学科である裾野高校らしさを示せるポリシーを策定していきたい。

副 校 長 地域貢献は本校の良さの一つであると思うので、それに向けての系列ごとの取り組みや身に付けさせたい資質や能力を、もう少しわかりやすい表現で入れ込んだ方がよいということでしょうか。

校 長 アドミッションポリシーは中学生に持って欲したい資質なので、ボリュームとしては少し薄めだが、グラデュエーションポリシーはより具体的にボリュームも多めの表現にした方がより裾野高校らしさが出て良いのだろうな、と考えました。

山本委員 あと、少し気になったことは、裾野高校の地域貢献の取り組みは評価されるべき取り組みではあるものの、地域貢献にとらわれすぎたり、地域企業への就職率が何%ということが、どれほどの意味があるのかということを見ると、それについての評価に重きが置かれると、学校評価として適切なのかという恐れ

も生じる。卒業後に就職で東京に出ますよ、という生徒も当然いるので。

副校長 グラデュエーションポリシーは、あくまでも高校在学中もしくは卒業までに、生徒に身につけさせたい資質や能力ということにフォーカスしなければならないということですね。

小田会長 ここでいう「地域」という言葉が、卒業のタイミングでの「地域」と、高校生活の間の生徒の「地域」と違って良いのではないかと。裾野高校の生徒が社会と関わりながら人生を送ることを、自己犠牲をしながら地域貢献するのではなくて、むしろ自分が暮らしている地域の一員として、という意味合いだと考えるが・・・

山本委員 それに重点を置くとシチズンシップ教育になってしまう。裾野高校に入学していく生徒は卒業後に就職する生徒も多いので、キャリア教育にも重点も置かなければいけないので、より良い市民性を育むシチズンシップ教育も大切だが、バランスに配慮する必要があると思われる。

校長 将来、働くことも含めて、自分の住む地域の周りの人々とより良い人間関係を構築して、自分の居住地域を少しでも良くしていくことが、地域貢献にも含まれていると解釈している。

山本委員 ヨーロッパのシチズンシップ教育と日本のそれは、対象領域が少し異なる点に留意する必要があると思う。裾野高校に置き換えるなら、高校卒業時に、社会に出る生徒もいるので、キャリア教育も重要である。自分の役割を社会の中で見出す能力の育成が大事ではないだろうか。

校長 「地域貢献」は本校の行動規範にある文言なので、変更は難しいと思われるが、山本委員にご指摘いただいた点に留意しながら学校側で考えさせていただきたい。

山本委員 社会に関わらずに生きていける人はいないと思われる。だから、もう少し積極的・能動的な表現の方がより良いと思われる。

校長 山本委員にご指摘頂いた系列ごとに育成していく資質・能力に改変していきたいと考えている。地域貢献という文言の在り方も含めて学校の方で再検討させていただきたい。ご意見、ありがとうございます。

山本委員 基本的には総合学科のそれぞれの系列の特長が書かれていればそれでよいと思います。コース決定の時期も含めて記述されているとさらに良いと思います。

副校長 カリキュラムポリシーについてですが、各系列の特長を入れ込んだ方がより好ましいですか？

山本委員 2年生になってから、系列ごとにカリキュラムがこのように変化していくのだというふうに視覚化した方がよりベストなのだが、実習がいつあり、その実習に備えて、どのような科目を履修するのかなどがわかるとさらに良い。学びの変容が、2年生と3年生ではどのように変わっていくのか、などがわかると良

いと思います。

校 長 なかなかボリュームがあるので、どこまでカリキュラムポリシーに反映できるかわかりませんが、できるだけ努力して改変していきたい。

山本委員 アドミッションポリシーも、「挑戦」と「変化」と2つに分けて記述されているが、高校在学中に、自分の生き方を見出す意思があるなどの表現があると、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、グラデュエーションポリシーの3つがリンクするのではないか。

会 長 この他、何かご意見あればお願いします。

稲垣委員 1年生の時の時間割と、系列を選んだあとの時間割があってすごくわかりやすかった。この系列を選ぶと数学は余り授業がないなどの情報が得られて、参考になった。系列を決めるときに、この系列はこの授業をこの単位数やって、この資格取得に役立つなどの情報が理解できたので参考になった。

山本委員 裾野高校の良さは、他の普通高校と違って、系列ごとに非常に多様な教科・科目を選択できることであるから、そこはアピールしたい点でもある。

副 校 長 中学校に高校説明会で行ったときに、自分の興味や進路に関係する科目や教科を系列によって選ぶことができる、という説明をすると中学生の反応も良い。なので、教育課程表をカリキュラムポリシーに載せることはできないので、それを代替する表現をカリキュラムポリシーに入れ込みたい。裾野高校に進学すると自分の進路に応じた勉強ができるということを、中学生や保護者に理解できる表現をこのポリシーに載せるということですね。

山本委員 そうですね。卒業後の進路決定を先送りにしない、ということがわかるポリシーにした方が良いのではないか。

校 長 たくさんのご意見ありがとうございました。

室伏委員 保護者は理想とする学校に進学して欲しいという想いはあるが、最終的には子供がこういうことを学びたいんだと考えている学校に親としては行かせてあげたいと考えるので、中学生が裾野高校に進学するとこういった科目を勉強するのだということが読んでもわかりやすく伝わる表現で各種のポリシーを策定してもらいたい。中学生や保護者が読んでも理解しやすい優しい表現・言葉で表してもらえるとより良いと思う。

校 長 たくさんのおアドバイスをありがとうございました。ご助言を活かして各ポリシーを再度、練り直してより良いものを作っていきたいと思います。

会 長 この他はよろしいか。では、所連絡をお願いします。

その他・諸連絡

副 校 長 次回は学校評価アンケートになります。各分掌の主任からの説明を交えて今年

度の教育活動の取り組みについて評価をお願いします。来週開催ということで時間が無いので、評価そのものについては、各委員に次回終了後、評価していただいたものを郵送していただくという形式をとりたいと思います。ご理解とご協力をよろしくをお願いします。

閉会